

# DECISION

レース委員会による抗議

Request No.: 04

Event: 2024年度 関東学生ヨット春季選手権大会女子レース / 2024 Kanto Intercollegiate Sailing Spring Championship Women's Series Race Number: 7  
Hearing Schedule: 2024-05-04 18:00

## PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 04: Race Committee

470 - JPN 105 - 4731 - 村越帆乃果 川口ことみ

## VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

## PROCEDURAL MATTERS

レース委員会代表: 柳 慶子

艇105代表: 村越帆乃果

オブザーバー: 磯邊壱心 (中央大学)

## FACTS FOUND

風速は6ノット、チョッピいな波だった。

470級第7レースのスタート前、艇105は装備品（ブームバングのブロック）を海上で交換した。

艇105が装備品の交換した10分後にスタートシーケンスが始まり、艇105は第7レースを帆走フィニッシュした。

艇105は帰着申告後、オープンチャットによって交換した装備品の写真をレース委員会へ提出した。

紙による変更届を抗議締切時刻内にレース委員会に提出した。

Diagram: Diagram not endorsed

## CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: SI17.2

インシデント当時の海況その他の条件の下で、艇105が装備品の交換を最初にレース委員会に伝えたのが帰着申告後だったのは、SI17.2に定める「最初の妥当な機会」ではない。

従って、艇105はSI 17.2に違反した。

SI17.2違反にはDPが適用される。

## DECISION

Date & Time: 2024-05-04 19:37 JST

World Sailing 裁量ペナルティーの指針を用い、ペナルティーの出発点としてプロテスト委員会はバンド3の違反に当たると決定した。

バンド3のペナルティの midpoint は50%である。ペナルティを加重したり減じたりする事実は認められなかった。

第7レースにおいて艇105に50%(小数点以下第二位を四捨五入する)の得点ペナルティーを与える。

ただしDNFの得点よりも悪くはならない。

## PROTEST COMMITTEE

Committee Type: Protest Committee

Chaired By: Masaaki Tanaka (JPN)

Committee Members: Hideaki Saito (JPN)